

令和3年度 山梨県立山梨高等学校全日制評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

山梨県立山梨高等学校 校長 小尾 きよこ

学校目標・経営方針	校訓「至誠無息」を生活の中での心得として、常に目標や理想を高く掲げ、真摯に生きる生徒の育成
-----------	---

本年度の重点目標	I 学びの本質に迫り、自ら考え、判断し、表現できる生徒の育成
	II 誇りと気概を持ち、自他を敬愛する豊かな心を持つ生徒の育成
	III 生命や人権を尊重し、心身ともにたくましい生徒の育成
	IV 地域や保護者に信頼される学校づくり

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価							
番号	評価項目	本年度の重点目標	具体的方策	年度末評価(2月16日現在)			
				方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	自ら考え、判断し、表現できる生徒の育成を目指す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	①個に応じた指導の充実を図るための、ICTを活用した指導方法や指導体制の工夫改善	授業改善アンケート、定期試験及び模擬試験等	・ICT機器を活用した授業実践を、着実に進めることができた。 ・学習評価は、来年度からの観点別評価実施を見据え、観点別評価の試行を繰り返す中で具体的な改善点を明らかにした。 ・SDGsを主軸とした探究的な学習や、周囲と連携した協働的な学びを深めることができた。	B	・ICT機器の活用をより推進していくよう、教員に対し情報提供や研修を行っていく。 ・学習評価は、確実にPDCAサイクルを確立させる。 ・探究的な学習や体験活動は、コロナ禍の中でもできることを模索し、より充実させていく。	
			②学習意欲を高め、予習、授業、復習を軸とした学習習慣の確立につながる学習評価の改善				学校評価アンケート、授業参観アンケート
			③生徒同士、多様な他者との協働による、より良い学びの生成のための探究的な学習や体験活動等の充実				TS事後アンケート、ポートフォリオ作成状況
2	誇りと気概を持ち、多様化する価値観を受け入れながら自他ともに敬愛する豊かな心を持つ生徒の育成	①朝読書や学校図書館の積極的な活用による読書活動の充実	朝の読書アンケート、図書館利用状況及び図書貸出状況等の調査	・毎日の朝読書を継続して実施し、外部機関主催のコンクールへの参加等を通して、組織的に読書に関する啓発活動にも取り組んだ。 ・コロナ禍の中で活動が制限されたが、ボランティア活動への参加希望者は多く、自己有用感や自己効力感を高めることができた。 ・様々な場面において主権者教育を取り上げたが、組織的に推進できなかった。	A	・定着している朝読書は、内容や関連した取り組みを計画し、より一層の充実を図っていく。 ・ボランティア活動は、学校外との綿密な調整を行いながらより活動を充実させ、豊かな心を持つ生徒の育成を目指す。 ・主権者教育は、公民科・家庭科・総合的な探究の時間を連動させて、組織的に推進していく。	
			②自己有用感・自己効力感を育む多様な体験活動の推進				ボランティア活動状況及びTS事後アンケート
			③主権者として意欲的に社会参画する力を醸成するためのクロスカリキュラムの推進				学校評価アンケート、授業アンケート
3	新しい生活様式を確立するなかで、生命や人権を尊重し、心身ともにたくましい生徒の育成	①感染症対策を大前提とした健康で活力ある生活を送る土台となる基本的な生活習慣の確立	学校評価アンケート	・「感染しない・させない」を根本に、学校全体で感染症対策に取り組むことができた。 ・コロナ禍で数々の制限はあったが、今できる生徒会活動を充実させた。部活動は外部との交流が思うに任せず、芳しい成果を挙げることができなかった。 ・防災教育では、万が一の時に適切な行動を取れる力の育成に努めた。	A	・感染状況を見極めて、より適切な感染症対策を施していく。 ・生徒会活動・部活動は、目標の中に道徳的なもの一つ入れ、外部との連携した体験活動を展開していく。 ・多様な形態の防災訓練を計画し、できる活動を行っていくことを期待する。 ・自然災害に対する防災、減災教育は引き続き確実に実施し、災害時に行動できる生徒を育成してほしい。	
			②他者と協働してより良いものを創り上げる生徒会活動・部活動の推進				学校評価アンケート、生徒会誌による活動状況の検証
			③命を守る「自助・共助」の行動につなげる安全・防災教育の充実				学校評価アンケート、行事の検証
4	地域や保護者に信頼される学校づくり	①ホームページや梨高メール、各種「便り」等による定期的な情報提供	学校評価アンケート、広報物の検証、オープンスクールへの参加状況	・毎日の学校ホームページの更新を欠かさず、情報発信に努めた。 ・コロナの影響でオープンスクールは中止となってしまったが、学校紹介動画を配信し、また、中学校訪問を年2回実施するなど広報活動を充実させることができた。 ・部活動では地域住民を外部人材として活用することができ、信頼関係も深めることができた。	A	・より充実したホームページにしていいため、情報発信する内容の提供を積極的に呼びかける。 ・SNS等を活用した広報活動を検討していく。 ・部活動以外の授業や学校行事における積極的な外部人材の活用を図り、教員の働き方改革をより推進していく。	
			②オープンスクールや学校訪問等による地元中学校への広報活動の充実				学校評価アンケート、外部人材活用実績
			③教員の働き方改革の取組として、外部人材の活用による校務の精選・効率化				学校評価アンケート

学校関係者評価	
実施日(令和4年2月17日)	
評価	意見・要望等
3	・教育目標、重点的な取組に基づいて大変きめ細かな取組が実施されている。 ・多様な生徒がいる中で、学習への意欲を高める工夫・わかりやすい授業の実践に積極的に取り組んでいる。 ・コロナ禍の中で、外部との連携による探究活動や体験活動が実施できない状況にあり、「山梨高校らしさ」が発揮できないことは大変残念である。
4	・読書は、人間形成の土台となるものであり、読書週間の確立に一層取り組んでほしい。 ・生徒が自身の進む道を見出すためにも、自己肯定感や自己有用感を育む学校独自の多様な体験を充実させてほしい。 ・登下校時の交通マナーの向上や覇気のある挨拶を交わすこと等、より一層の指導を期待する。
4	・コロナ禍にあって、感染対策をしっかりとって教育活動に取り組んでいた。集団行動やコミュニケーション活動が限定され、学校として大変な工夫や努力が求められたが、来年度も一層の創意工夫をお願いしたい。 ・コロナ禍においても部活動の中に外部と連携した取組を計画し、できる活動を行っていくことを期待する。 ・自然災害に対する防災、減災教育は引き続き確実に実施し、災害時に行動できる生徒を育成してほしい。
4	・家庭クラブの活動「特殊詐欺防止啓発運動」が、地域や社会に向けて発信されていることに感謝する。 ・地域の方からはとても信頼されている。同窓生からの信頼も厚いので、積極的な情報発信をお願いする。その際にSNSを活用することを検討してほしい。 ・教育活動に外部人材を活用するなど地域との連携を積極的に行い、信頼される学校づくりを進めてほしい。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。